

医薬品副作用・感染症症例票

識別番号	C02-4300	2002年9月17日	2002年2月6日	2002年2月6日	同一症例番号	年月日	年月日	年月日	死・感・重・先・癒・改・OTC (厚生労働省処理欄)
区分	副作用	30日	登録番号	情報入手日	2002年2月6日	2002年2月6日	2002年2月6日	2002年2月6日	不明
患者略名	10 歳	入院・外来: 外来	妊娠:	医薬品副作用歴:	不明	不明	不明	不明	不明
N.S.	職業:	不明	職業:	不明	不明	不明	不明	不明	不明
販売名	一般名	S・O	使用	使用理由	副作用・	年月日	年月日	年月日	年月日
(企業名)			経路	一日量	開始	終了	原因疾患には下線 合併症には()		
シメトレル錠 (日本チバガイギー)	塩酸アマンタジン	S	P0	50mg	2002/1/24	2002/1/26	インフルエンザ	2002/1/24	幻覚NOS
トミロン (富山化学)	セフテラムピボキシル	O	P0	UK	2002/1/24	不明		2002/1/26	副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過 39℃の発熱を認めたため某内科医院を受診した。 臨床的にインフルエンザと診断され、同日よりシメトレル(塩酸 アマンタジン、50mg/day)の投与を3日間受けた。 (併用薬:トミロン、レフトーゼ、ポンタール) その後も39℃の発熱が続いた。
レフトーゼ ポンタール (三共)	塩化リゾチーム メフェナム酸	O	P0	UK	2002/1/24	不明		2002/1/27	幻覚、幻視が出現した。幻視は、前兆を伴い数分間持続し、「知ら ないおばさんが見える」と訴え、1日に数回認められた。 解熱し、感冒様症状は軽快したが、その後も1日に1-2回の幻視を認 めた。
		O	P0	UK	2002/1/24	不明		2002/2/5	上記の症状が持続するため、当院小児科を受診。 来院時、明らかに神経学的所見を認めなかった。しかし、脳波検査 中も幻視が出現した。 脳波:安静覚醒閉眼時記録において、8-10Hz 20-40μVのα波が主調 をなし、少量のβ波とθ波が混在する。左右差は見られない。 HVでbuild upを認め、高振幅のα波が出現する。HV終了後、すぐにI ecoverlyする。明らかに発作波形は認められない。 頭部CT:明らかに異常所見を認めない。 MRI:異常所見なし。 血液検査:肝機能、腎機能その他正常範囲。 その後、幻視の出現回数は減少してきた。 この頃には、症状は消失した。 その後、半年間の間に脳波等の検査を繰り返し行なったが、明らか な異常は見られなかった。
その他の治療:	不明	再投与:	無	転帰:	回	(2002年2月15日)			